

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都府中市新町 1 丁目 6 4 番地の 1
園名	府中市立北保育所

1. 活動のテーマ

<テーマ>

野菜

<テーマの設定理由>

園庭の畑やプランターでの栽培活動ができる環境があり、これまでナスやきゅうり、じゃがいもなど、様々な野菜の栽培活動を楽しんできた。その様子を踏まえた上で、活動のスペースを確保できる環境を活かし、植物の多様な育ち方に気がつき、子どもの好奇心や五感を刺激するようなテーマとして、土以外で生長するしいたけを選択した。

2. 活動スケジュール

- ・散歩を実施し、身近な環境の中で生えているきのこを観察し、興味をもつ。
- ・水やりをグループ毎に行い、みんなで栽培する。
- ・給食室と連携して調理し、実際に食べてみる。
- ・日毎の成長を写真にまとめて、子どもたちと振り返る。
- ・保護者にも日々のお知らせやダイジェストで様子を共有する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

用具：霧吹き、きのこの図鑑や絵本、ジョウロ、ダイオネット（日よけ）など。
環境の設定：園庭の外倉庫の周辺にダイオネットを設置し、栽培のスペースを確保する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・散歩での探索：道路沿いの切り株にきのこが生えているのを発見した。また、散歩先の公園内でも発見した。
- ・水やり：グループ毎（5から6人程度）で毎日朝夕に水やりを行った。はじめは霧吹きを使用した。水が足りないのではないかという声が挙がり、途中からジョウロに変更した。同時に、原木を2分の1から4分の1程度にカットし、水分量を調整した。
- ・食育：生えていたものを給食に入れてもらい試食した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・原木の見た目から強い興味をもち、どの児も意欲的に水やりをしていた。菌がついている白い部分を「これなに？」と気づいて尋ねたり、原木の匂いを嗅いでみたり、きのこの図鑑を眺めたり、それぞれ異なる関心の寄せ方が見られた。
- ・しいたけが中々生えてこなかったが、「お水が足りないのではないかな？」などと原因を探そうとする姿があり、子どもたちと相談しながら、バケツの水に浸して置く、原木を色々な長さに切る、水やりの方法と場所を変えるなど、試行錯誤しながら取り組んだ。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・計画した際には、順調に生長することのみを想定していたが、今回のように予想通りの結果でなかったとしても、そこに行きつくまでにどのようなことを子どもたちと話し合い、共有し、行ってみたかという過程が大切なのだと改めて感じた活動だった。
- ・子どもたちと一緒に試行錯誤したのもよい経験だったが、予めどうすれば栽培が上手くいくか、失敗しやすい事例はあるかなどを知識として備えておくことにより活動の幅が広がったと思うので、今後栽培活動を行う際には取り組んでいきたい。